

平成22年11月5日

## 岩手大学農学部教員公募

岩手大学農学部応用生物化学課程では准教授（女性）の公募を実施していましたが、この度、下記の通り公募期間を延長しますので、関係各位に御周知下さいますようお願い申し上げます。

### 1. 対象者

- (1) 所属・職名：応用生物化学課程 准教授（女性） 1名
- (2) 専門分野： 応用微生物学  
微生物資源の有効・高度利用を目的として、微生物および微生物酵素の持つ多種多様な機能・特性を化学的、生物学的手法で解明し、産業への応用について教育研究を行う。
- (3) 担当授業科目：  
学部：微生物学概論，微生物生理機能学，微生物学実験，卒業研究，応用生物化学演習 I，II（分担），  
その他専門基礎科目（分担），全学共通教育科目（分担）  
大学院：微生物機能利用学特論，応用生物化学特別研究，酵素化学特論（分担）
- (4) 資格条件： ア．女性に限る（男女雇用均等法第8条に該当。女性教員の割合が相当程度少ない現状を積極的に改善するための措置として女性に限定した採用を行うもの）  
イ．博士（またはPh. D.）の学位を有し，上記専門分野において優れた業績を有する者  
ウ．上記専門分野の教育・研究に関する十分な能力と意欲を有し，課程および学部の運営に積極的に取り組んでいただける者
- (5) 任用予定：平成23年4月1日以降できるだけ早い時期

### 2. 提出書類

- (1) 履歴書（写真添付）：1通
- (2) 研究業績一覧：下記の分類に従って，A4版横書きに年代順に記載する。
  - A. 著書・訳書－著者等（編，単著，共著，分担），発行年，書名（分担項目），出版社，通頁
  - B. 学位論文－著者（発行年），題目，大学名
  - C. 総説・論説－著者（単著，共著，分担），発行年，題目，誌名，巻（号），通頁
  - D. 原著論文－全著者，年，題目，誌名，巻（号），通頁  
(a) 学術雑誌，(b) 紀要，(c) プロシーディングスに分けて記載する。  
著者名にアンダーラインを付し，コレスポンディングオーサーあるいは筆頭著者とイコールコントリビューションの場合は二重のアンダーラインを付ける。但し，論文にその記載がある場合に限る。
  - E. その他（報告書・事業報告書など）
  - F. 特許・設計など
  - G. 国際学会発表（最近5カ年）

#### H. 国内発表（最近5カ年）

注-1) マージンは左右上下約3cmに設定し、1行35～40字で40行（日本文の場合、フォントサイズは10.5～12程度）にして下さい。

注-2) 例えば、総説・論説がない場合は、C. 原著論文のように繰り返して下さい。

- (3) 主要論文の別刷り：5編以内
- (4) 現在までの教育研究内容の概要：A4用紙2枚程度
- (5) 着任後の教育研究に対する抱負：A4用紙2枚程度
- (6) 特筆すべき教育・研究業績（受賞や特許など）、競争的資金獲得状況、社会活動や学会活動など
- (7) 本人について問い合わせができる研究者の氏名と連絡先：2名

3. 応募期日：平成22年12月20日（月）まで。

（当方から連絡する場合の宛先、電話番号及びメールアドレスを明記のこと）

4. 選考方法：一次：書類選考，二次：プレゼンテーションおよび面接（但し、旅費等の経費は自己負担とする。）

5. 提出方法：上記の提出書類（1）～（7）をPDFファイルに変換し、下記のメールアドレスにお送り下さい。

6. 書類送り先：岩手大学農学部 応用生物化学課程 磯部公安（e-mail: [kiso@iwate-u.ac.jp](mailto:kiso@iwate-u.ac.jp)）宛尚、メールのタイトルは「教員応募書類（応用微生物学）」と記載して下さい。

#### [付記]

・応用生物化学課程の状況（平成22年11月5日現在） 現員：教授6名，准教授5名，助教0名。